

第 7 交通曆年表

平成元年以降

| | 社会情勢（全国で発生した重大事故等） | 主な道路交通法等改正 | 組織改編等 |
|------------|--|--|---------------------------|
| H元 1989 | | | |
| H2 1990 | | 初心運転者期間制度の新設 (H2.9.1) | |
| H3 1991 | 第5次交通安全基本計画策定（S46以降、5年毎に策定） 東名高速道路における91台関連事故、9人死亡、99人負傷（愛知） JR福知山線において大型トラックと普通列車の事故、396人負傷（京都） | 地域交通安全活動推進委員制度運用開始 (H3.1.1) | 運転免許課新宮分室を設置 |
| H4 1992 | 北海道縦貫自動車道における車両186台関連事故、2人死亡、106人負傷 普通車と大型観光バスの正面衝突、1人死亡、36人負傷（神奈川） | 消音器不備車両の運転禁止 (H4.8.1) 原付講習を導入 (H4.11.1) | |
| H5 1993 | 名神高速道路における14台関連事故、8台炎上、4人死亡、8人負傷（滋賀） 名神高速道路における7台関連事故、5台炎上、6人焼死（愛知） | | 交通企画課に「安全教育班」を設置 |
| H6 1994 | 大型路線バスと大型観光バスが衝突、59人が負傷（福岡） | 優良運転者制度、過積載対策、車輪止め装置を導入（H6.5.10） | 高速道路交通警察隊の独立 (以下「高速隊」) |
| H7 1995 | 8人乗車の普通車がガソリンスタンドに激突 | | |

| | | | |
|--------------|---|--|------------------------|
| | <p>6人死亡（静岡）</p> <p>東名高速道路において普通車と大型バスが衝突、3人死亡、42人負傷（神奈川）</p> | | |
| H 8 1996 | <p>第6次交通安全基本計画策定</p> <p>上信越道における普通車同士の事故、5人死亡（長野）</p> <p>東名高速道路におけるトレーラー横転炎上事故、6人死亡（静岡）</p> <p>普通車と大型車2台の事故、11人死亡（兵庫）</p> <p>【全国】 交通事故死者9,943人 9年振りに1万人以下</p> | <p>大型二輪免許及び普通二輪免許に関する規定の整備 (H8.9.1)</p> | |
| H 9 1997 | | | |
| H 10 1998 | <p>普通車が祭礼山車行列に衝突、5人死亡、23人重軽傷（茨城）</p> <p>定員外乗車の普通車による単独事故、5人死亡、1人重傷（京都）</p> <p>定員外乗車の普通車による単独事故、高校生を含む5人死亡、1人重傷（福岡）</p> | <p>高齢歩行者の保護、交通安全活動推進センター関連規定の整備 (H10.4.1ほか)</p> <p>交通安全教育指針（国家交委員会告示） (H10.9.22)</p> | <p>新宮運転免許センターの運用開始</p> |
| H 11 1999 | <p>中央道における10台関連玉突き事故、20人重軽傷（山梨）</p> <p>東名高速において飲酒運転のトラックが普通車に追突、幼児2人焼</p> | | |

| | | | |
|-------------|---|---|--|
| | 死（東京） | | |
| H12 2000 | 通学児童を車底部に巻き込み引きずったひき逃げ事件を殺人未遂で検挙（兵庫） | 走行中の携帯電話等の使用禁止 幼児用補助装置（チャイルドシート）の使用の義務付け (H12. 4. 1) 高速自動車国道における軽自動車及び自動二輪車の最高速度引き上げ (H12. 10. 1) | |
| H13 2001 | 第7次交通安全基本計画策定 あおり運転をした暴走族OBによる死亡ひき逃げ事件を傷害致死で検挙（埼玉） | 刑法改正 危険運転致死傷罪の新設 (H13. 12. 25) | 運転免許課と運転免許試験場を統合 交通企画課に「交通安全対策室」を設置 |
| H14 2002 | | 自動車運転代行業の業務の適正化に関する法律施行 (H14. 6. 1) 改正道路交通法の施行 飲酒、無免許運転等の罰則引き上げ 一般運転者に係る免許の有効期間が5年に延長 (H14. 6. 1) | 交通指導課に「暴走族対策室」を設置 |
| H15 2003 | 【全国】 交通事故死者7,768人 ピーク(S45:16,765人) の半分以下 | | 高速道路交通警察隊「印南分駐隊」 発足 |
| H16 2004 | | | |
| H17 2005 | | 自動二輪車の二人乗り規制の見直し (H17. 4. 1) A T限定二輪免許の導入 (H17. 6. 1) | 交通指導課に「交通捜査・暴走族対策室」、「交通鑑識係」を設置 |
| H18 2006 | 第8次交通安全基本計画策定 福岡市における幼児3人が死亡した飲酒ひき逃げ事件 | 放置違反金制度の導入 (H18. 6. 1) | 交通指導課に「駐車違反取締センター」を設置 |

| | | | |
|---------------------|---|--|--|
| <p>H19 2007</p> | <p>兵庫県尼崎市における 3人が死亡した危険運 転致死事件</p> | <p>刑法改正 自動車運転過失致死傷罪の新設 危険運転致死傷罪の改正 (H19. 6. 12) 改正道路交通法の施行 中型免許、中型自動車の新設 (H19. 6. 2) 飲酒運転、ひき逃げ等の厳罰化、 飲酒運転助長行為（車両提供・ 酒類提供・同乗）の整備 (H19. 9. 19)</p> | |
| <p>H20 2008</p> | <p>「交通事故死ゼロを目 指す日」の設定 埼玉県熊谷市における 危険運転致死傷及び道 路交通法違反（酒類提 供等）事件、死者2人、 重軽傷6人</p> | <p>後部座席シートベルト着用義務 化 (H20. 6. 1)</p> | |
| <p>H21 2009</p> | | <p>飲酒運転等の行政処分点数の引 き上げ 講習予備検査（認知機能検査） の導入 (H21. 6. 1) 高速道路等における車間距離不 保持の厳罰化 (H21. 10. 1)</p> | |
| <p>H22 2010</p> | | <p>高齢運転者等専用駐車区間制度 の導入 (H22. 4. 19)</p> | |
| <p>H23 2011</p> | <p>第9次交通安全基本計 画策定 栃木県鹿沼市における てんかんの持病を有す る運転者による自動車 運転過失致死事件、児 童6人死亡</p> | <p>新高齢運転者標識の導入 (H23. 2. 1)</p> | |
| <p>H24 2012</p> | <p>京都市東山区祇園にお ける自動車運転過失致 死傷事件、7人死亡、 12人重軽傷 京都府亀岡市における 自動車運転過失致傷及</p> | <p>聴覚障害者が運転できる車両の 種類を拡大 矢印信号に関する規定の整備 (H24. 4. 1)</p> | |

| | | | |
|-------------|---|---|---------------------|
| | び道路交通法違反（無免許運転）事件、3人死亡、7人重軽傷 | | |
| H25 2013 | | 無免許運転の罰則強化、幫助行為の罰則新設 自転車の路側帯通行に関する規定の整備 (H25.12.1) | |
| H26 2014 | 北海道小樽市における危険運転致死傷及び道路交通法違反事件、3人死亡、1人が重傷 | 自動車の運転により人を死傷させる行為等の処罰に関する法律施行 過失運転致死傷アルコール等影響発覚免脱罪の新設 無免許運転による加重規定の新設 (H26.5.20) 改正道路交通法の施行 免許を受けようとする者等に対する質問等に関する規定の整備 (H26.6.1) | |
| H27 2015 | 北海道砂川市における飲酒運転者らによる危険運転致死傷及び道路交通法違反事件、4人死亡、1人重傷 | 自転車の悪質運転者に対する講習制度の新設 (H27.6.1) | 高速道路交通警察隊「すさみ分駐隊」発足 |
| H28 2016 | 第10次交通安全基本計画策定 長野県北佐久郡軽井沢町における大型貸切バス転落事故、15人死亡、26人重軽傷 愛知県一宮市におけるスマートフォンの画像注視に起因する過失運転致死事件、1人死亡 東京都立川市における高齢運転者による過失運転致死傷事件、2人死亡、1人軽傷 | | |
| H29 2017 | 東名高速道路におけるあおり運転に起因する | 臨時認知機能検査及び臨時高齢者講習の新設 | 高速道路交通警察隊「橋本分駐所」 |

| | | | |
|-------------------|---|---|---|
| | 危険運転致死傷事件、 2人死亡、4人重軽傷 (神奈川) | 準中型自動車と準中型免許の新 設 (H29.3.12) | の設置 交通機動隊「みな べ分駐隊」を田辺 警察署に移転し、 「紀南分駐隊」に 名称変更 |
| H30 2018 | 堺市におけるあおり運 転に起因する殺人事件 | | |
| H31 R元 2019 | 東京都豊島区における 高齢運転者による過失 運転致死傷事件、2人 死亡、10人が重軽傷 滋賀県大津市における 過失運転致死傷事件、 園児2人死亡、14人重 軽傷 福岡市早良区における 高齢運転者による過失 運転致死傷事件、2人 死亡、7人重軽傷 | 携帯電話等による「ながら運転」 の厳罰化 (R元.12.1) 【和歌山県】 飲酒運転の根絶に関する条例 自転車の安全利用の促進に関す る条例 (H31.4.1) | |
| R2 2020 | 新型コロナウイルス感 染症による緊急事態宣 言の発令 東京五輪・パラリンピ ックが延期 【和歌山県】 交通事故死者最少 18人 | 自動運転の技術の実用化に対応 するための規定の整備 (R2.4.1) 妨害運転（あおり運転）に対す る罰則の創設 (R2.6.30) | |
| R3 2021 | 東京五輪・パラリンピ ック開催 千葉県八街市における 危険運転致死傷事件、 児童の列に飲酒運転の トラックが突っ込み5 人が死傷 | | |
| R4 2022 | 【全国】 交通事故死者最少 | | 警察署の再編 有田署・湯浅署が |

| | | | |
|-------------|-------------------------|---|---|
| | 2,610人 | | 「有田湯浅署」に、串本署が廃止され白浜署・新宮署へ編入 (R4. 4. 1) |
| R 5 2023 | 新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」に移行 | すべての自転車運転者乗車時のヘルメット着用努力義務化 移動用小型車・遠隔操作型小型車の運用の開始 ・特定自動運行（「レベル4」自動運転）の運用開始 (R5. 4. 1) 電動キックボード（特定小型原動機付自転車・特例特定小型原動機付自転車）の運用開始 (R5. 7. 1) | |

※ 全国で発生した重大事故は、各年発行の「警察白書」掲載分を中心に掲載。